

## 2022.04.23 シニアクラブ Online 会合報告

ロシアのウクライナ侵攻から2カ月、激しい攻防が繰り返されて建物は破壊しつくされ、数多くの避難民が故郷を離れ、多くの民間人犠牲者も生じています。21世紀の今、なんでこんなことになるのか全く信じられません。

今回のテーマは「国歌を通じて歴史を学ぼう」でした。歌詞の中にその国の歴史が秘められているのではないかと思い、youtubeにアップされているいくつかの国歌を聴いてみました。

今回の参加者は旅先からの参加を含め8人でしたが、それぞれ感じるところを話し合いました。



特に今回はウクライナ、ロシアとその周辺国の国歌および、第2次世界大戦前の緊張が高まるヨーロッパ諸国とそれから続いたソ連時代のいくつかの国の歌を調べてみました。この歌詞は次のサイトからご覧いただけます。 <http://www.jvc-senior.com/20220425kokka.pdf>

今回調べてみた中で、歌詞を大別すると ①神に祈りをささげる ②戦いに向かって国民を鼓舞する（戦いに勝つ、戦いから祖国を護る） ③祖国の素晴らしさを誇り祖国を称える になると思います。そして④神に懺悔する ようなものもありました。

その国の歴史を観ることができるでしょう。映像を通して美しい景色とメロディー、そして歌詞の意味をよく確認してみてください。

ヨーロッパ大陸は陸続きのために昔から様々な人の動きがあり、その中で交流もあれば戦いもありました。その戦いの歴史はとても語りつくせないものがあると思います。今回はその歴史にまた新たなページを書き加えてしまったこととなります。



国歌の歌詞の中には「祖国」という言葉と共に「故郷」という言葉がいくつも出てきます。島国の日本にいと「祖国 = 故郷」の感覚はあまりないかもしれませんが、国が滅び再興し、あるいは国境線が移動するなど、ヨーロッパでは幾度となく繰り返された戦いの歴史が国歌に滲み出ているのでしょう。

このOnline会合では今までに「故郷」をテーマとしてシリーズで何回か開催してきました。私たちにとっての「故郷」は穏やかな心の中にあるものでしょう。平和な祖国の下で「故郷」を語る幸せを感じないわけにはいきません。

ウクライナに早く平和が戻ることを祈るばかりです。

2022.04.25 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周